MONITOUCH テクニカルインフォメーション 2021年10月1日 テーマ 短縮起動について(本体 FLASH メモリ版)

該当機種	V9 シリーズ	No.	TI-M-0102-4	1⁄22

目次

1.	概要	2
2.	使用環境	3
3.	更新手順	3
	■0S の手動アップデートの場合 3-1. V-SFT の設定	3
	3-2. 画面データ・設定ファイル・SRAM データのバックアップ	6
	3-3. V9 本体の動作 (OS アップデート)	7
	3-4. 画面データの転送	0
	3−4−1. V−SFT から転送	0
	3-4-2. ストレージから転送1	1
	■0S の自動アップデートの場合	
	3–5. V–SFTの設定1	5
	3-6. 画面データ・設定ファイル・SRAM データのバックアップ1	6
	3-7. V9 本体の動作 (0S アップデート+画面データの自動アップロード)1	7
4.	制限事項1	9
5	注音車頂 1	9

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	2⁄22
		1

1. 概要

V9 シリーズは、電源投入時の起動(ユーザ画面までの表示)に時間を要します。 ユーザ画面を表示する時の状態(以下、起動イメージ)をV9 シリーズに保存し、次回電源投入時に保存済みの起動イ メージをロードすることで、V9 シリーズの起動時間を短縮できるようにします。

起動イメージの保存先は、本体 FLASH メモリまたは SD カード(内蔵ソケット)から選択できます。



く注意点>

- 短縮起動に更新するために、ストレージ(SDカード/USBメモリ)が必要です。32GB以下のストレージをご用意く ださい。
- * 起動イメージを SD カード(内蔵ソケット)に保存する場合は、SD カードを使用します。
- ・ 短縮起動に更新すると、OSタイプが変わります。このため、V9本体の画面データ等が消去されます。
- ・ 起動イメージの保存には約1分間かかります。
- ・ 画面データ変更後、起動イメージを保存し直す必要があります。
- ・ V9本体のハードバージョンが a~e の本体で、起動イメージを本体 FLASH メモリに保存する場合、使用可能メモリが 64MB→28MB に縮小されます。
 (V9本体のハードバージョンが f 以降、または SD カード(内蔵ソケット)に保存時は、使用可能メモリは変わりません。)
- ・ 起動イメージを SD カード(内蔵ソケット)に保存する場合、V9 本体で1度のみ SD カードを短縮起動用にフォーマットします (SD カードの容量が 256MB 減ります)。このため、SD カード内のデータが全て消去されます。

その他の注意事項について、5.注意事項(P.19)を参照ください。

本書は、起動イメージを本体 FLASH メモリへ保存する手順書です。SD カードに起動イメージを保存する場合、 別紙「短縮起動について(SD カード版): TI-M-0103」を参照ください。

テクニカルインフォメーション No. TI-M-0102-4	3⁄22
--------------------------------	------

2. 使用環境

V-SFT Ver.6.0.32.0(OS Ver.3.50、プログラム Ver.1.900)以降を使用します。 *短縮起動は、V-SFT Ver.6.0.27.0で対応。

ハードバージョン*1	a~e		f以降
OS type2 Ver*2 *3	V3.10~V3.3x V3.40 以降		V3.50 以降
	本書記載以外の制限あり		
プログラム Ver*3	V1.600 以降		
1/F ドライババージョン	全てのバージョン		
画面データ容量(フォントデータ含む)			最大 64MB

*1 V9本体背面のシール シリアル No. 末尾のアルファベットで確認します。

*2 起動イメージを本体 FLASH メモリに保存する場合、OS が「type2」になります。

*3 V9本体ローカル画面のシステム情報でバージョンを確認できます。

3. 更新手順

短縮起動に更新すると、OS タイプが変わります。このため、V9 本体の画面データや設定ファイル等が消去 されます。必ずバックアップをとった上で実行してください。

設定ファイルとは…

本体ローカル画面で変更した設定内容(通信設定、システム設定等)を保存しているファイルです。

■ 0S の手動アップデートの場合

3-1. V-SFT の設定

① V9 シリーズで使用する画面データを V-SFT Ver. 6 で開きます。

② [システム設定]→ [本体設定]→ [環境設定] をクリックします。



③ 「起動方法:短縮の設定を許可する」にチェックします。

本体設定							×
バックライト	ブザー	システム/モードスイッ	チ	ブリンク/フラッシュ		オーバーラップ	
環境設定	GD-80E	-80E/V609E互換設定 ローカル画面禁止設		カル画面禁止設定		起動方法	
表示項目 すべてま	表示			•			
マクロブロック内\$L/LC インターバルタイママク タタチスイッチのエミュレ トレンドグラフの再番組 レシビデンボラリデバイ ンジビデンボラリデバイ スイッチ動作中には描述	00SRAMアクセスを打 ロをサイクルと同期す ート(V8互換) 動クリアビットON時(ご 気よりも前に\$Tデバイ ス\$Rを使用可能とす 両サイクルを信止する	印制する る(V8互換) 重なっているトレンドの表示を えの約期化とスクリーンオーご する (V8互換)	クリアする パンマクロを実	行する	^		
▼記動方法短縮の設定 「アータフロックのの資産	定を許可する 前始時に入りモード	の情報出力デバイス(データ)	ブロックNo)を見	更新する	-		
					ОК		

- テクニカルインフォメーション No. TI-M-0102-4 4/22
 - ④ [起動方法] タブで、タイプを「短縮」にします。



⑤ 以下の確認ダイアログが表示されるので、[OK] をクリックします。



⑥ 起動イメージの保存先を「本体 FLASH メモリ」にチェックし、[OK] をクリックします。

体設定	電源投入時に
バックライト ブザー システム/モードスイッチ ブリンク/フラッシュ オーバーラップ	
場項設定 GU-80E/V609E 且供設定 U-77/W画图祭止設定 起動力法	Data Loading」(静止画)
タイプ 💿 標準 💿 短縮 🔟 🔤 短縮起動時、起動画面を表示する 🗲	を表示する場合、チェック
起動イメージの保存先 ◎ 本(本FLASHメモリ ◎ SDカード(内蔵ソケット) ①	を入れます。
フォント容量 6238208 byte	
画面容量 104448 byte 画面時的容量 21753856 byte □ メモリを拡張する ① ◆	a~e :チェックなし
タイプ、保存先の変更時はOSアップデートが必要です。	f 以降 : チェックあり
OK ++7/2/	にします。



ハード Ver.a ~ eの V9 本体を使用する場合

起動イメージを本体 FLASH メモリに保存するため、使用可能メモリが 64MB→28MB に縮小されます。 画面容量とフォント容量の合計が 28MB 以下になるよう、画面残り容量に注意してください。 [システム設定] → [フォント設定] → [転送フォント] でも画面残り容量が確認できます。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	5⁄22
テクニカルインフォメーション	No. 11-M-0102-4	5/22

- ⑦ [ファイル]→[ストレージマネージャ]をクリックします。ドライブを指定するダイアログが表示され ます。
- ⑧ ストレージを挿入しているドライブを指定して [OK] をクリックします。ストレージマネージャーが起動 します。



⑨ [ストレージ] → [ストレージへ書き込む] をクリックします。[ストレージに書き込む] ダイアログが 表示されます。[OS を書き込む] にチェックし [OK] をクリックします。



10 以下の確認ダイアログが表示されるので、[OK] をクリックします。

ストレージへ 書きこむ



テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	6⁄22
テクニカルインフォメーション	10.11 - 10 - 0102 - 4	0/22

① ストレージへの書込が完了すると、アクセスフォルダ(例 [EXT0000])と [OSUPDATE] フォルダが表示されます。

VSft60	·	ストレージ	ストレ	ージマネージャー(I:¥) - [無題.V9]	_ = x
		ストレージ			スタイル 🗸 😚
🛕 完了しました		ジ BINファイルを プロノ 戻す BINファ	(ディ コメントの 編集 イル 天		
	4 🛛 🖾 スクリーン(0) 🖉 スト	トレージマネージャーのい	×		4
	🖃 👝 リムーバブル ディスク (I:)	ファイル名	ファイルの種類	サイズ 更新日時	
ОК	⊕-]] EXT0000) EXT0000	ファイル フォルダー	2019/11/15 11:42	
	OSUPDATE	OSUPDATE	ファイル フォルダー	2019/11/15 11:42	

[OSUPDATE] フォルダにファイルが保存されます。

🕋 🔍 🗁 🔚 🤈 🔿 🦛 🖉	ストレージ	ג ג	トレージマネージャー(I:¥) - [無觀.V9]	- = ×
🥙 編集 表示 ヘルプ	ストレージ				スタイル 🗸 肴
	ジ BINファイルをプロパティ 戻す	コメントの 編集 ま			
		1 4845			Þ
B= リムーバブルディスク(I;)	77418	ファイルの種類	サイズ	更新日時	
	D files.md5	MD5 ファイル	806 B	2019/10/07 11:00	
USUPDATE	fw.conf	CONE 7741	273 B	2019/09/17 18:49	
	OS1.bin	BINファイル	221,984 B	2019/09/17 18:47	
	OS2.bin	BINファイル	5,268,504 B	2019/09/17 18:47	
	OS3.bin	BIN ファイル	117.702.656 B	2019/09/17 18:47	
	OS4 1.bin	BIN ファイル	5.252,880 B	2019/09/17 18:48	
	OS4_2.bin	BIN ファイル	1,262,582 B	2019/09/17 18:48	
	OS5.bin	BIN ファイル	143,463 B	2019/10/07 10:55	
	OS6.bin	BIN ファイル	5,107,803 B	2019/10/07 10:55	
	OS7_1.bin	BIN ファイル	768 B	2019/10/07 10:55	
	OS7_2.bin	BIN ファイル	25,353,629 B	2019/10/07 10:55	
	OS8.bin	BIN ファイル	117,702,656 B	2019/09/17 18:47	
	QB1.bin	BIN ファイル	110,160 B	2019/09/17 18:48	
	QB2.bin	BIN ファイル	15,556 B	2019/09/17 18:48	
	QB3.bin	BIN ファイル	114,256 B	2019/09/17 18:48	
	QB4.bin	BIN ファイル	15,556 B	2019/09/17 18:48	
	UF1.bin	BIN ファイル	39,190,528 B	2019/10/07 11:00	
	UF2.bin	BIN ファイル	1,966,080 B	2019/09/17 18:48	
	UF3.bin	BIN ファイル	39,321,600 B	2019/10/07 11:00	
	UF4.bin	BIN ファイル	1,966,080 B	2019/09/17 18:48	
	UF5.bin	BIN ファイル	2,097,152 B	2019/09/17 18:48	

[fw. conf] ファイルを右クリック→ [プロパティ] で、OS バージョンが確認できます。



3-2. 画面データ・設定ファイル・SRAM データのパックアップ

短縮起動に更新すると、OS タイプが変わります。このため、V9 本体の画面データや設定ファイル等が消去され ます。V9 本体の OS アップデートを行う前に、画面データ・設定ファイル・SRAM データのバックアップをとっ てください。

* バックアップ手順について、詳しくは『V9 オペレーションマニュアル』、『V9 トラブルシューティング/メン テナンスマュアル』、『V9 ハード仕様書』を参照ください。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	7⁄22

3-3. V9 本体の動作 (0S アップデート)

OS アップデートを行うと、自動的に本体プログラムもアップされます。

- V9本体にSDカードとUSBメモリ両方が挿入されている場合、SDカードを優先します。
- ① V9の電源を切ります。
- ② ストレージを V9本体に挿入して、V9の電源を入れます。
- ③ [SYSTEM] スイッチを押して*[システムメニュー]を表示させ、[ローカルモード] スイッチを押します。 ローカル画面に切り替わります。
 - * Advanced モデルの場合、画面の四隅の1ヶ所を2 秒以上長押し後、別の四隅の1ヶ所を2 秒以上 長押しすると、[システムメニュー] が表示されます。
- ④ [システム情報] メニューで、現在の「プログラム Ver.」、「OSVer」を確認します。
- ⑤ [OS アップデート] メニュー*で、[OS アップデート] スイッチを押します。
 - * [OS アップデート] メニューは、OSUPDATE フォルダが格納されたストレージを挿入している時のみ 一番下に表示されます。

SRAM設定	0Sアップデート		2019-11-18	11:09:13
SRAM政定 SRAM政定 通信設定 ジステム設定 同 「 「 「 「 「 「 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 「 」 」 」 」 」 」 』 」 』 』		05のフップデート由は電源の切断や、メデ アを彼かないでください。 のたかありまた 05のアップデート	10	
ユーザー設定 の OSアップデート				

⑥ 以下の確認ダイアログが表示されるので、[実行]スイッチを押します。OS アップデートが開始されます。



テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	8⁄22
テクニカルインフォメーション	No. 11-M-0102-4	8/22

⑦ V9 が再起動し、画面が 5 秒程真っ暗になります。

SRAM設定	_05アップデート	2019-11-18 11:17:54		
**************************************	-			
通信設定				
8				
システム設定				
10				
日付時刻設定				
	リスタートします。 しばらくお待ちください。			真っ暗
ストレージ転送				
۲				
I/0チェック	-			
<u></u>				
ユーザー設定				
(05) 06 77				
ロSアップデート				

⑧ 0Sの更新中は、以下の画面が表示されます。



⑨ OSのアップデートが正常に終了すると、以下の画面が表示され、自動的に V9 が再起動します。



⑩ OS アップデート後、初期出荷画面が表示されます。[日本語(Japanese)] スイッチを押します。

	Language Setting	2019-11-18 11:40:47
System Information		
🤏 Language Setting	Select the language to display.	English
Allow updates	使用する言語を選択してください。	日本語 (Japanese)
	请选择显示语言。	简体中文 (Simplified)
	請選擇顯示語言。	繁體中文 Traditional
	표시할 언어를 선택하십시오.	한국어 (Korean)

Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション No. TI-M-0102-4 9.	⁄22
-----------------------------------	-----

① [システム情報] メニューで、現在の「プログラム Ver.」、「OSVer.」を確認します。

<u></u>	ようこそ 2019-11-18 11:42:0	3	S	システム情報 2019-11-18 11:44:41
ようこそ			ようこそ	本体情報 画面データ情報 ドライバ情報 ハードウェア情報
0			1	機種情報 - Ethernet情報 - Ethernet情報 - 102 168 0.1
システム情報			システム情報	プログラムVer: V2.000 サービスボート: 10000
2			2	OSVer : V3.80 type2 伝送速度 : Auto
言語設定	この度はお買い上げいただき、誠にありがとうございます。		言語設定	ーフォント情報 エディタ転送ボート(シリアル) フォント : Multi Font
	本機は現在、初期モードになっております。	N 1		フォントVer: V1.000
LAN設定	運転を開始するには画面データの転送を行ってください。		LAN設定	メモリ情報 メモリ使用状況 □ 画面データ : 0KB
:			3	26576/28672KB ロフォント : 26576KB
ストレージ 転送	Ethernetで転送するストレージで転送する		ストレージ 転送	□ 通信ドライパ : 0KB
۲			۲	92 % 2096KB
I/0チェック			I/0チェック	
î			î	
更新許可			更新許可	セットアップエラー
				画面データを転送してください。

プログラム Ver. : V1.900 以降 0S Ver. : V3.50 type2 以降

* 起動イメージをフラッシュメモリに保存する場合、OS が 「type2」になります。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	10⁄22
テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	10⁄22

3-4. 画面データの転送

3-4-1. V-SFT から転送

① [転送] → [書込] をクリックします。転送ダイアログが表示されます。



② 転送データ「画面データ」を選択し、[PC->]をクリックします。転送が開始されます。



画面データ転送前に、起動イメージを削除します。

V9 が再起動しますが、そのままお待ちください。



* Ethernet で転送する場合、V9 本体の LAN 設定で

IP アドレスの設定が必要です。

③ 画面データ等を転送後、V-SFT に以下のダイアログが表示されます。
 設定ファイル等のバックアップデータを続けて転送する場合は[いいえ]をクリックし、[転送]→[書込]から転送します。(再度以下のダイアログが表示されます。)

バックアップデータを全て転送した場合は [はい]をクリックします。

VSft60		23
2	起動イメージの保存を実行することで次回以降本体起動時に短縮起動 が可能となります。 起動イメージ保存の所要時間は約1分間です。 保存を実行しますか? (再起動するまで電源を切らないでください。)	
	(はい(Y) いいえ(<u>N</u>)

④ V9 再起動後、起動イメージの保存が開始されます。起動イメージ保存は約1分間かかります。
 保存中は以下の画面が表示されます。

	転送中 起動イメージを保存しています らくお待ちください。	Uđ + tytu
Saving the boot image. Do not turn off the power. 起動イメージを保存しています。電源を切断しないでください。 保存啟動圖像。請勿關閉電源。 开机图像保存中。请勿切断电源。 부트 이미지를 저장 중입니다. 전원을 끄지 마십시오.		

⑤ 起動イメージの保存終了後、ユーザ画面が表示されます。 以上で転送は終了です。次回より V9 電源投入時、短縮起動します。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	11⁄22
テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	11⁄22

3-4-2. ストレージから転送

① [ストレージ転送] スイッチを押します。

	\	システム情	報			21	019-11-18	11:44:4
	ようこそ	本体情報	画面データ情報	ドライバ情報	- N-	「ウェア情報		
	システム情報	 機種情報 型式 	: V9100iS		Etherne IPアドレ	t情報 ス : 192. ポート : 1901	168.0.1	
	%	OSVer	: V3.80 type2		ッーこスホート: 10000 伝送速度 : Auto			
	言語設定	- フォント† フォント	青報 : Multi Font	エディタ転送ポート(シリアル))	
		フォントVe	er : V1.000		設定示一	ト∶MJI		
	LAN設定	メモリ情報	服 用状況			画面データ	: 0	ЭКВ
I	フトレージ	26576/28	672KB			フォント 通信ドライ/	:: 	26576KB 3KB
l	転送		00 K			拡張プログラ	∋ь : I	ЭКВ
		l	92 %			空き	: :	2096KB
	6							
	更新許可	セットアップ	プエラー					
		画面データ	を転送してください	٥				

- ② 動作選択を [本体←ストレージ]、ストレージ接続先選択を [SD カード] または「USB メモリ]、データ選択を [画面データ] にして [決定] をクリックします。
 - * このメニュー以降は、ストレージを抜き挿ししないでください。

a	ストレージ転送	2019-11-18	11:46:38
ようこそ	動作選択		
0	a = 本体 ← ストレーン 電 本体 → ストレージ		
システム情報	□ ホート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
2	◎ 消去		
言語設定	ストレージ接続先選択		
	■ [C:]SDカード		
LAN設定	データ源49		
いたい ストレージ 転送			
۲			
I/0チェック			
î			
更新許可			
	決定		

③ フォルダ名が「3-1. V-SFTの設定」手順①(P.6)と同じか確認します。
 異なる場合は、[フォルダ選択]スイッチを押し、該当のフォルダを選択します。

	ストレージ転送	201	9-11-18 11:52:38
ようこそ	- ストレージファイル情報 - ファイル名 : DSP0000.BIN		□画面データ ■[C:]SDカード
0	更新日時 : 2019-11-18 11:47:52	空き容量	7612548 KB
システム情報	型式 : V9100iS プログラムVer: V2.000	フォルダ名	EXT0000
参 言語設定	フォント : Jpn. Gothic TTF フォントVer : V1.000 コメント :		□ フォルダ 選択
	短縮起動 :対応 「転送データ選択	•	
LAN設定	▲全てを選択		
5	▶ 画面		
	· ★ フォント		
۲	★年シロシリム 又設定ファイル		
I/0チェック			
更新許可	デー: 動本体 ←	9転送後に起動イ - ストレージ	「メージを保存する
		転送開始	◎ キャンセル

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	12⁄22
----------------	-----------------	-------

④ 転送データ選択を [全てを選択]、[データ転送後に起動イメージを保存する] にチェックし、 [転送開始] スイッチを押します。

<u>_</u>	ストレージ転送	2019-11-18 11:52:38
ようこそ	- ストレージファイル情報 - ファイル名 : DSP0000.BIN	□画面データ ■[C:]SDカード
1	更新日時 : 2019-11-18 11:47:52	空き容量 7612548 KB
システム情報	型式 : V9100iS プログラムVer : V2.000	フォルダ名 EXT0000
2	フォント : Jpn. Gothic TTF フォントVer : V1.000	フォルダ 澄却
言語設定	コメント : 対応 : 対応 : (対応 :)	ASPA
	「転送データ選択	
LAN設定	🗙 全てを選択	
3	▶ 画面	
	★ フォント	
۲	- × 本体ブログラム	
I/0チェック	□ ★ 設定ファイル	
î		
更新許可		5.50歳に起動1メージを保存する
	転	送開始 🛛 🛇 キャンセル

短縮起動に対応した本体プログラ ム Ver. の場合、「短縮起動:対応」 と表示されます。

* ストレージに格納されている画面データの本体プログラムが V1.600 より古い場合、 本体プログラムは転送できません。



- ⑤ 以下の確認ダイアログが表示されます。[OK] スイッチを押します。



テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	13⁄22
テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	13/22

⑥ 以下の確認ダイアログが表示されます。[OK] スイッチを押します。

\$	ストレージ転送	2019	-11-18 12:01:	48
ようこそ	- ストレージファイル情報 ファイル名 : DSP0000.BIN		□画面データ ■[C:]SDカード	
1	更新日時 : 2019-11-18 11:47:52	空き容量	3476544	K
システム情報	型式 : V9100iS プログラムVer:V2.000	フォルダ名	EXT0000	
2	フォント : Jpn. Gothic TTF フォントVer : V1.000		フォルダ 選択	
言語設定	コメント ジ転送		201	
	「転送デ・リスタートしてストレージ転送を継続します。			
LAN設定				
5				
ストレージ 転送				
۲				
I/0チェック				
6	∑ ≓_ <i>n</i> ≠	送给仁权助义	ノージたにたっ	- z
更新許可	→ 本体 ← ク → 本体 ← ク →	.とない起動1 ミトレージ	▶─▶を休仔 9	9
	\$E53	送開始	◎ キャンセ	r

⑦ V9 が再起動後、転送が開始されます。

⑧ 以下の確認ダイアログが表示されます。[OK] スイッチを押します。

ſ		Storage Transfer	2019-11	1-18 13:02	2:29
	RUN	Storage File Information File Name :		□Screen D][C:]SD C	ata ard
	1	Updated on :	Free Space		KE
	System	Type :			ร์
ł	Inititiaciton	Program Ver. : Font Data	Folder Name	EXTOOOO	
	2	Font Ver. :		Select	
	Language Setting	Storage Transfer		Forder	9
	LAN Setting	Transfer via storage device will be a after rebooting. Please wait.	started		
Î	<i>1</i>	ОК			
	VPN Setting	Font Data			
		- 🗙 Sys. Program			
	Cloud Setting	Configuration File			
	E-Mail Setting	X Save the boot	image after	data trans	fer
	A A A A A A A A A A A A A A A A A A A	Disp	play < Stor	rage	
	SRAM		Start	Cano	cel

- ⑨ V9 が再起動後、画面転送が開始されます。
- 10 画面転送後、以下の確認ダイアログが表示されます。[OK] スイッチを押します。

	Storage Transfer	2019-11-18 13:09:30
RUN	Storage File Information	Screen Data
	File Name :	[C:]SD Card
	Updated on :	Free Space KB
System	Type :	
Information	Program Ver. :	Folder Name EXT0000
	Font Data :	
S	Font Ver. :	Select
Setting	Comment :	Forder
	Short-time Storage Transfer	
	- Select Dat	
LAN	Work normally finished.	
Setting	X Select	
1	- X Scree	
VPN	- 🗙 Font Data	
Deccing	- Y Sus Program	
	A byo. rrogram	
Cloud	Configuration File	
Setting		
E-Mail	X Save the boot	image after data transfer
Setting	Anio	nlaw day Storage
	0015	pray Scorage
-		Start Start
SRAM		

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	14⁄22
テクーカルインフォメーション	NO. 11-M-0102-4	14/22

① V9 再起動後、起動イメージの保存が開始されます。起動イメージ保存は約1分間かかります。
 保存中は以下の画面が表示されます。



12 起動イメージの保存終了後、ユーザ画面が表示されます。

以上で転送は終了です。次回より V9 電源投入時、短縮起動します。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	15⁄22
	NO. 11 M 0102 4	10/ 22

■ 0Sの自動アップデートの場合

3-5. V-SFT の設定

- ① 「■OS の手動アップデートの場合」の手順①~⑧を参照ください。
- ② [ストレージ] → [ストレージへ書き込む] をクリックします。[ストレージに書き込む] ダイアログが 表示されます。[自動アップロード] と [OS の転送] にチェックし [OK] をクリックします。



* [システムプログラム転送後 RUN する] にチェックがなくても、RUN モードに切り替わります。

③ 以下の確認ダイアログが表示されるので、[OK] をクリックします。



④ ストレージへの書込が完了すると、アクセスフォルダ(例 [EXT0000])と [DSPDEF]、[OSUPDATE] フォル ダが表示されます。



[DSPDEF] \rightarrow [DSP] フォルダに「DSPDEF.BIN」が保存されます。 DSPDEF.BIN には、画面データ/本体プログラム/フォント/ I/F ドライバ等が含まれています。

🙀 🔍 🗁 🔚 🔊 (C 👄) =	ストレージ	ג	、トレージマネージャー(I:¥) - [SWtest_mi.V9]	_ = ×
🥦 編集 表示 ヘルプ	ストレージ				スタイル 🗸 🏠
ストレージへ ストレージの ストレー 書きこむ バックアップ コピー ストレージ	ジ BINファイルを プロパティ コ 戻す BINファイル	メントの 編集 表示			
🖣 🔽 スクリーン(0) 🖉 スト	レージマネージャーCEV ×				⊳
🖻 👝 リムーバブル ディスク (I:)	ファイルタ	ファイルの種類	サイズ	更新日時	
DSPDEF		BIN ファイル	32,907,365 B	2019/11/18 13:50	

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	16⁄22
----------------	-----------------	-------

[OSUPDATE] フォルダにファイルが保存されます。

	ストレージ		トレージマネージャー(I:¥) - [SWtest_mi.V9]	
	ストレージ ジ BINファイルを プロパティ コ 戻す BINファイル	レントの 編集 表示の情報			7341h s d
< / 📉 スクリーン(0) / 🗏 ス	トレージマネージャー(EV) ×				Þ
🖻 👝 リムーバブル ディスク (I:)	ファイル名	ファイルの種類	サイズ	更新日時	
B-	Autoupdate.ini	構成設定	0 B	2019/11/18 13:51	
	files.md5	MD5 ファイル	806 B	2019/10/07 11:00	
OSUPDATE	fw.conf	CONF ファイル	273 B	2019/09/17 18:49	
	OS1.bin	BIN ファイル	221,984 B	2019/09/17 18:47	
	OS2.bin	BIN ファイル	5,268,504 B	2019/09/17 18:47	
	OS3.bin	BIN ファイル	117,702,656 B	2019/09/17 18:47	
	OS4_1.bin	BIN ファイル	5,252,880 B	2019/09/17 18:48	
	OS4_2.bin	BIN ファイル	1,262,582 B	2019/09/17 18:48	
	OS5.bin	BIN ファイル	143,463 B	2019/10/07 10:55	
	OS6.bin	BIN ファイル	5,107,803 B	2019/10/07 10:55	
	OS7_1.bin	BIN ファイル	768 B	2019/10/07 10:55	
	OS7_2.bin	BIN ファイル	25,353,629 B	2019/10/07 10:55	
	OS8.bin	BIN ファイル	117,702,656 B	2019/09/17 18:47	
	QB1.bin	BIN ファイル	110,160 B	2019/09/17 18:48	
	QB2.bin	BIN ファイル	15,556 B	2019/09/17 18:48	
	QB3.bin	BIN ファイル	114,256 B	2019/09/17 18:48	
	QB4.bin	BIN ファイル	15,556 B	2019/09/17 18:48	
	UF1.bin	BIN ファイル	39,190,528 B	2019/10/07 11:00	
	UF2.bin	BIN ファイル	1,966,080 B	2019/09/17 18:48	
	UF3.bin	BIN ファイル	39,321,600 B	2019/10/07 11:00	
	UF4.bin	BIN ファイル	1,966,080 B	2019/09/17 18:48	
	UF5.bin	BIN ファイル	2,097,152 B	2019/09/17 18:48	

[fw. conf] ファイルを右クリック→ [プロパティ] で、OS バージョンが確認できます。

Kate Control (1997) Kate Control (1997)	ストレージ	٦٨	レージマネージャー(I:¥) - [5Wtest_mi.V9]
ストレージへ ストレージの ストレージ 書きこむ バックアップ コピー	ジ BINファイルを プロパティ 長す BINファイル	・ メントの 編集 表示	
4 🔼 スクリーン回 🗏 ス	トレージマネージャー(i:\) ×		fw.confのプロバティ
 □ → UA -/(ブル ディスク(!:) → ▲ DSPDEF → ▲ EXTOROO → ▲ OSUPDATE 	ファイル名 Attoupdet=.ini Attoupdet=.ini Attoupdet=.ini Attoupdet=.ini Attoupdet=.ini Disc. attoupdet=.ini Attoupdet=.ini Disc. attoupdet=.ini Attoupdet=.ini Disc. attoupdet=.ini Attoupdet=.ini Disc. attoupdet=.ini Attoupdet=.ini Disc. attoupdet=.ini Attoupdet=.ini Disc. attoupdet=.ini Attoupdet=.ini Disc. attoupdet=.ini Attoupdet=.ini Disc. attoupdet=.ini Attoupdet=.ini Disc. attoupdet=.ini Attoupdet=.ini Disc. attoupdet=.ini Disc. att	ファイルの種類 構成設定 MDS ファイル Ctrl-X ファイル ろァイル ファイル ろァイル ファイル BIN ファイル	全校 fw.conf OS/バージョン: V3.80 type2 種類 CONF ファイル サイズ: 362813893 Byte 更新日時: 2019年9月17日 1849:14 OK 年やンセル 連用(A)

3-6. 画面データ・設定ファイル・SRAM データのバックアップ

短縮起動に更新すると、OS タイプが変わります。このため、V9 本体の画面データや設定ファイル等が消去され ます。V9 本体の OS アップデートを行う前に、画面データ・設定ファイル・SRAM データのバックアップをとっ てください。

* バックアップ手順について、詳しくは『V9 オペレーションマニュアル』、『V9 トラブルシューティング/メン テナンスマュアル』、『V9 ハード仕様書』を参照ください。

	テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	17⁄22
--	----------------	-----------------	-------

3-7. V9 本体の動作 (OS アップデート+画面データの自動アップロード)

・ OS アップデートを行うと、自動的に本体プログラムもアップされます。

・ V9本体にSDカードとUSBメモリ両方が挿入されている場合、SDカードを優先します。

- ① V9の電源を切ります。
- ② V9本体のディップスイッチ(DIPSW1)をONに設定します。
- ③ ストレージを V9 本体に挿入して、V9 の電源を入れます。「Data Loading…」と表示されます。
- ④ 続いて以下の画面が表示されます。



- ⑤ 画面が5秒程真っ暗になります。
- ⑥ OSの更新中は、以下の画面が表示されます。



⑦ OSのアップデートが正常に終了すると、以下の画面が表示され、自動的に V9 が再起動します。



⑧ 再度、「Loading from Storage」とメッセージが表示され、ストレージに格納された画面データが書き込まれます。



⑨ V9 再起動後、起動イメージの保存が開始されます。起動イメージ保存は約1分間かかります。
 保存中は以下の画面が表示されます。



11 起動イメージの保存終了後、ユーザ画面が表示されます。

以上で転送は終了です。次回より V9 電源投入時、短縮起動します。 (電源投入前に、ディップスイッチ(DIPSW1)を OFF に設定してください。)

短縮起動環境で画面データの自動アップロードのみ行った場合、手順⑧からの動作となります。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	19⁄22

4. 制限事項

短縮起動環境では、以下の内容が制限事項となります。

- 動画ビューア / USB カメラ / HP HPLIP プリンタ未対応
- ・ ビデオ/RGB 表示速度の低下

 ([システム設定] → [本体設定] → [ビデオ/RGB 上のスーパーインポーズを有効にする] または [ビデオ/RGB 上のスーパーインポーズを有効にする (V8 互換)] チェック時)
- · Advanced モデル(静電容量タイプ)で、USB メモリ使用不可
- 本体プログラム V1.600 より古いバージョンのプログラム転送不可
- ・ ハードバージョン f 以降の本体は、OSV3.50 以降の OS を使用

5. 注意事項

短縮起動 OS (OS Vx. xx type2)の場合、ローカル画面に[更新許可]メニューまたは[起動イメージ保存]メニューが表示されます。



V-SFT (Ver. 6.0.27.0以降) やストレージ転送メニューより画面データを転送する際は、自動的に本体 FLASH メモリを書込許可に変更して転送を開始するため、上記の切り替えは不要です。

* V-SFT Ver. 6.0.26.0 以前から転送する場合、[更新許可] 実行後に画面データを転送する必要があります。 [更新許可] 実行前に転送すると、V-SFT で「ライトエラー」となり転送できません。

テクニカルインフォメーション	No.	TI-M-0102-4	20/22

- ・ 短縮起動環境で、OS アップデート実行時に更新 OS が標準 OS の場合は OS、本体プログラム共に更新しません。
- 万が一画面データ転送途中や、起動イメージ保存中に電源を切った場合、次回起動時は標準起動になります。
 (現在の起動状態は、V9のローカル画面の[更新許可]メニューで確認ができます。)
 短縮起動を行う場合は、後述<起動イメージの保存方法>を行ってください。
- 以下の状態時、起動イメージの保存が必要です。 起動イメージを保存しないと、次回起動時は標準起動となります。(短縮起動になりません。) - 画面データ変更時(Ver. 6.0.27.0以降) * V9 本体が短縮起動 OS (OSVer : Vx. xx type2) の場合、画面データ転送後に以下のダイアログが表示されま す。 [はい]をクリックすると、起動イメージを保存します。 [いいえ]をクリックすると、起動イメージを保存せずにを終了します。 VSft60 83 * V9 本体が短縮起動 OS の場合、短縮起動の設定 起動イメージの保存を実行することで次回以降本体起動時に短縮起動 が可能となります。 をしていない画面データを転送しても、この 起動イメージ保存の所要時間は約1分間です。 保存を実行しますか? ダイアログが表示されます。 (再起動するまで電源を切らないでください。)

(はい(Y)

- 画面データ変更時 (Ver. 6.0.26.0 以前)
- 「3-4-2. ストレージから転送」時、[データ転送後に起動イメージを保存する] にチェックせずに転送した 時

いいえ(N)

- 画面データ転送後に V9 本体で画面データエラーが発生した時 (エラー解消後に起動イメージ保存が必要)
- ローカル画面に [起動イメージ保存] メニュー表示時
- ローカル画面の [更新許可] メニューで、 [現在の状態:標準] の時
- 短縮起動環境で OS アップデート実行後
 - * [OS アップデート] メニューは、[更新許可] を実行し本体 FLASH メモリを書込許可にしないと表示されません。
- オプションユニット「GUR-xx」または「CUR-xx」を入れ替え時 (同じ型式のユニットに交換する場合は、以下の手順は不要です。)

起動イメージは次の方法で保存できます。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	21/22
テクーカルインノオメーション	NO. 11-M-0102-4	21/2

<起動イメージの保存方法>

■ V9 本体からの起動イメージ保存方法

- [SYSTEM] スイッチを押して*[システムメニュー]を表示させ、[ローカルモード] スイッチを押します。
 ローカル画面に切り替わります。
 - * Advanced モデルの場合、画面の四隅の1ヶ所を2 秒以上長押し後、別の四隅の1ヶ所を2 秒以上長押し すると、[システムメニュー] が表示されます。
- ② [更新許可] メニュースイッチを押し、[更新許可] スイッチを押します。

通信設定	システム情報	2017-09-07 11:23:15	SRAM股定	更新許可	2017-09-07 11:2
•	本体情報 画面データ情報 ドライバ情報	報 ハードウェア情報	22		
システム設定	機種情報 型式 : V9100iS	Ethernet情報 IPアドレス : 10.91,130,164	通信設定		
10	プログラムVer: V1.800	サービスポート: 10000	ø		
日付時刻設定	OSVer : V3.40 type2	伝送速度 : Auto	システム設定		
いた ひっぷ ひっかい ひっかい ひっかい ひっかい ひっかい ひっかい ひっかい ひっかい	フォント情報 フォント : Multi Font フォントVer: V1.000	エディタ転送ボート(シリアル) 設定ボート : MJ1	日付時刻設定	現在の状態:短縮	
I/0チェック I/0 I/0	×モリ情報 メモリ使用状況 8440/28672KB	□ 画面データ : 46KB □ フォント : 7672KB	ストレージ 転送	設定の変更を許可します。 更新許可	
ユーザー設定	29 %	 ■ 通信ドライバ : 722KB ■ 拡張プログラム : 0KB ■ 空き : 20232KB) I/0チェック	▲SDカードを抜き差しした場合は正常に動作 しません。	」 作
0			2 ユーザー設定		
記動イメージ 保存	}		更新許可		

- V9 が再起動します。
 - * オプションユニット「GUR-xx」または「CUR-xx」を入れ替える時は、V9 の電源を切った後ユニットを交換 します。再度手順①から行ってください。
- ④ [起動イメージ保存] メニュースイッチを押し、[保存開始] スイッチを押します。

通信設定	システム情報	2017-09-07 11:23:15	通信設定	起動イメージ保存	2017-09-07 11:23:34
◆ 「」」」	本体情報 画面データ情報 ドライバ情報 / 機種情報 Eth Eth	ハードウェア情報 hernet情報			
一 日付時刻設定	型式 : V91001S IPア プログラムVer: V1.800 サー OSVer : V3.40 type2 伝送	・ドレス : 10.91.130.164 - ビスポート : 10000 N速度 : Auto	日付時刻設定		
いた ひっぷ ストレージ 転送	フォント情報 フォント : Multi Font フォントVer : V1.000	ディタ転送ポート(シリアル) Eポート: MJ1	マントレージ 新祥	現在の状態:標準	
③ I/0チェック	 メモリ情報 メモリ使用状況 8440/28672KB 	 ■面データ : 46KB □ フォント : 7672KB 	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	保存中は電源の切断や、ストレージを抜か いでください。	2
ユーザー設定	29 %	 通信ドライバ : 722KB 試張プログラム : 0KB 空き : 20232KB 	ユーザー設定	保存開始	
05アップデート			0 5アップデート		
起動イメージ 保存			起動イメージ 保存		

⑤ V9 再起動後、起動イメージの保存が開始されます。起動イメージ保存は約1分間かかります。 保存中は以下の画面が表示されます。



⑥ 起動イメージの保存終了後、ユーザ画面が表示されます。

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-0102-4	22⁄22
----------------	-----------------	-------

■ V-SFT からの起動イメージ保存方法



· V-SFTで開いている画面データの「起動方法」が「短縮」であることが条件となります。

- オプションユニット「GUR-xx」または「CUR-xx」を入れ替え時、前述の「■ V9 本体からの起動イメージの保存方法」を行ってください。
- ① [転送]→[通信設定]で、起動イメージを保存する V9 シリーズとの通信設定を行います。
- ② V-SFT で画面データを開いている状態で、アイテム未選択時に右クリックし、[起動イメージ保存]を選択します。[転送中]の画面が出て V9 が再起動します。そのままお待ちください。



③ V-SFT に以下のダイアログが表示されます。[はい]をクリックします。



④ V9 再起動後、起動イメージの保存が開始されます。起動イメージ保存は約1分間かかります。
 保存中は以下の画面が表示されます。



⑤ 起動イメージの保存終了後、ユーザ画面が表示されます。

【お問い合わせ】発紘電機株式会社 技術相談窓口 フリーコール:0120-128-220 FAX:076-274-5208